

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現在看取りの方はいないが、状況に合わせ家族、主治医、訪問看護と連携はしている。今後、重度化した場合、終末期のあり方についての研修会ができていない。	スタッフは重度化、終末期に向けての支援方法を理解する事ができる。	職員に終末期や重度化の対応についてのアンケートをとり、それについて勉強会を実施する。 (訪問看護又は外部講師を招き勉強会を行う)	4ヶ月
2	10	家族様の面会時に利用者様の生活についての意向はその都度お聞きしているが、業務について意見、要望を管理者や職員に伝える機会をもうけていない。	意見箱を設置することで、利用者、家族からの意見、要望の機会を設け、今後のサービスに繋げる。	意見箱を設置し、自由に意見、要望を記入する機会を設ける。	1ヶ月
3	35	年2回の防災訓練は行っているが、避難時利用者の身体状況が分かりにくい。	利用者が早く、安全に避難する事ができる方法を全職員が身につける。地域の消団とも協力体制を築いていく。	居室の入り口に車椅子使用、手引きなど目印をつけ、安全に避難できるようにしていく。また、2Fからの避難方法についても、早急に研修や訓練、指導を計画し実施する。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。